「おかやまアダプト」推進事業

事故防止ハンドブック

～過去の事故事例から学ぶ～

岡山県土木部

はじめに

「おかやまアダプト」推進事業にご参加いただき、また、いつも地域をきれいにしていただき、誠にありがとうございます。

「おかやまアダプト」推進事業では、皆さまに安全で無理のない活動を実施していただくようお願いしておりますが、毎年ケガや事故が発生しています。また、近年では、骨折等の重大な事案も複数報告されています。

この度、皆さまに安全に活動していただくため、本事業で過去5年間に発生した事故事例を取りまとめ、ハンドブックを作成しました。まずご一読いただくとともに、作業前の安全確認等にご活用いただければ幸いです。

作業にあたっては、くれぐれも無理はせず、安全に活動していただくようお願い申し上げます。

岡山県 土木部　道路整備課
河川課
防災砂防課
港湾課
都市局　都市計画課

目　　次

・安全のためのチェックリスト　・・・・ 1

・こんな場所での作業は危険　・・・・ 2

・草刈機使用上の注意点　・・・・ 3

・草刈機による作業時の服装・保護具　・・・・ 4

・草刈機　作業前の点検　・・・・ 5

・草刈機によるキックバック　・・・・ 6

・草刈機による石の飛散テスト　・・・・ 7

・蜂やマダニに注意！　・・・・ 9

・熱中症を防ぐには　・・・・ 11

・熱中症かな？と思ったら　・・・・ 12

・事故事例集

1.切り傷など　・・・・ 15

2.蜂ささされ　・・・・ 21

3.転倒・転落など　・・・・ 27

4.その他　・・・・ 47

安全のためのチェックリスト

作業前にみんなで欠かさず確認しましょう

☐ 危険箇所や立ち入らない箇所を確認しましたか。

☐ 体調の悪い人はいませんか。

☐ 服装は適切ですか。

☐ 草刈機の点検はしましたか。

☐ 草刈機の邪魔になる小石や枝などを除去しましたか。

☐ もしものときに受診する病院を決めていますか。

作業中はこんなことに気を付けましょう

☐ 危険箇所には立ち入らない。

☐ 無理のない範囲で作業をする。

☐ 体調がすぐれないときは早めに休む。

☐ 草刈機使用中の人からは15m以上離れる。

☐ 草刈機使用中の人には前から声をかける。

☐ 蜂やマダニ、蛇などに注意する。

☐ 足元に十分気を付ける。

その日の体調や天気などのコンディションによっては、
思い切って作業の中止も検討しましょう。

★こんな場所での作業は危険★

次のような場所では、活動中に事故が起きています。むやみに立ち入らないようにしましょう。

①急斜面

足元が不安定な急斜面や、小石や草などで滑りやすい斜面での転倒事故が発生しています。

②高い場所

トンネルの上や水路のへりなどでの作業中に、誤って転落してしまった例が報告されています。

③地面が滑りやすい場所

護岸ブロックや草の上にに氷が張る、霜が降りる、雨で濡れるなどしていると滑りやすくなり、転倒の原因となります。

④十分な作業スペースがない場所

作業時は、十分なスペースを取りましょう。狭いところでの作業は、転倒・転落や草刈機の接触などの事故を招きます。

⑤足元が不安定な場所

地面に凹凸がある場所での作業時や、石の上に乗ってしまった場合などに、転倒事故が発生しています。

⑥川の中

川の中は、足元が滑りやすく不安定で危険です。川へ降りるときや川から上がるときに転落した例もあります。

⑦蜂の巣がある場所

蜂の巣を見つけたら速やかに離れましょう。蜂を見かけたことがある場所も要注意です。

★また、草が生い茂っている場所では足元が見えにくく、石や側溝などの障害物を見落としがちです。作業前によく確認をしましょう。

草刈機使用上の注意点

草刈機は、小さなミスが重大な事故につながる恐れのある機械であり、「おかやまアダプト」推進事業においても、草刈機使用中の事故が複数発生しています。
次の点に十分注意して作業しましょう。

草刈機を安全に使うためのポイント

① ヘルメット、防護メガネ、防振手袋など、防護具を必ず装着しよう。

② 作業前に機器の点検を行おう。

③ 作業を前に小石や枝、硬い異物などを除去しよう。

④ 15m以内に人がいないか確認して作業しよう。

⑤ 障害物や地面にぶつかって起きる刈刃の跳ね（キックバック）に注意しよう。

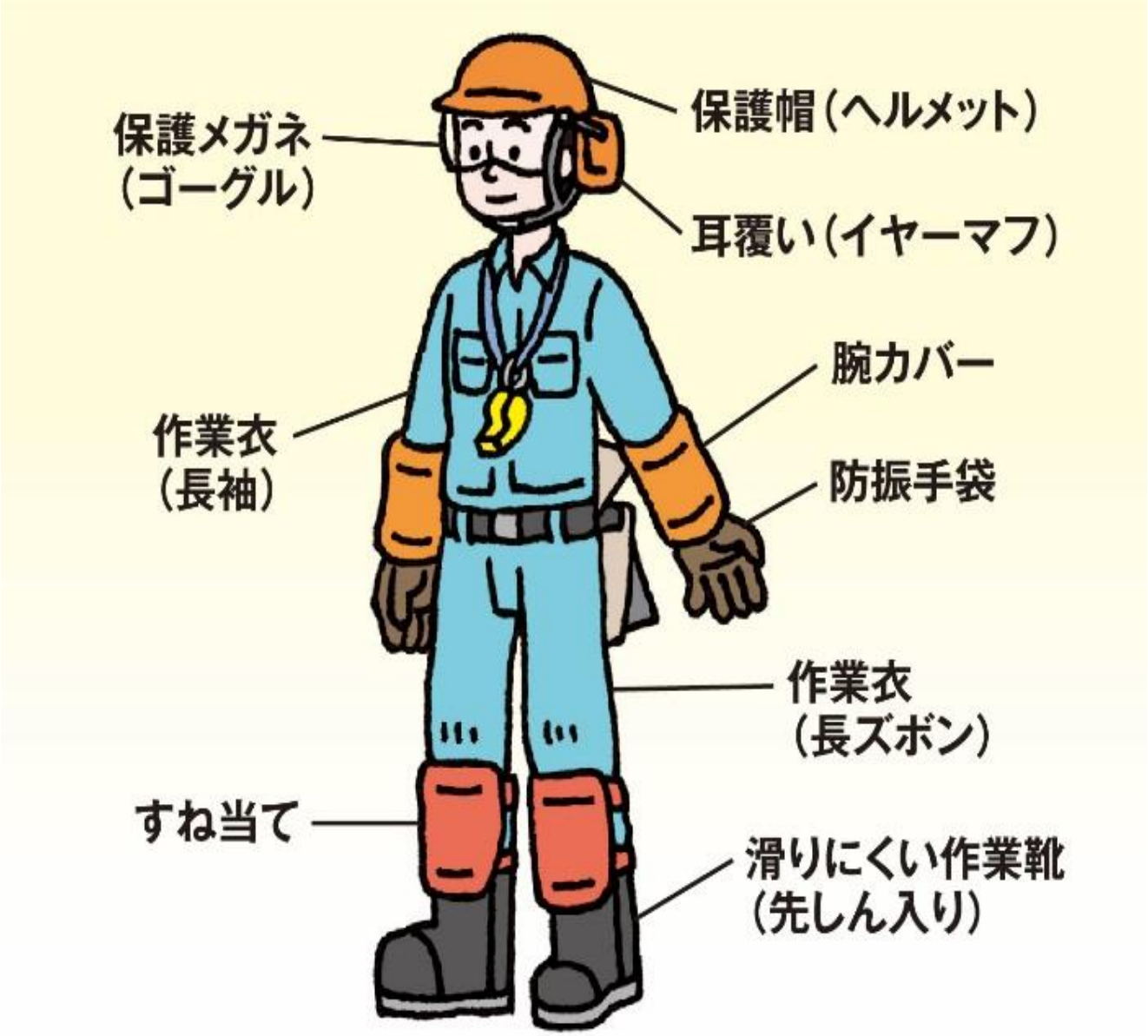
⑥ 刈刃に詰まった草や異物を取り除く際は、必ず機器を止めてから行おう。

⑦ 作業者の周囲の人は、作業者が安全対策をきちんと行っているか一緒に確認し、作業中も変わったことがないか常に意識するようにしよう。

草刈機による作業時の服装・保護具

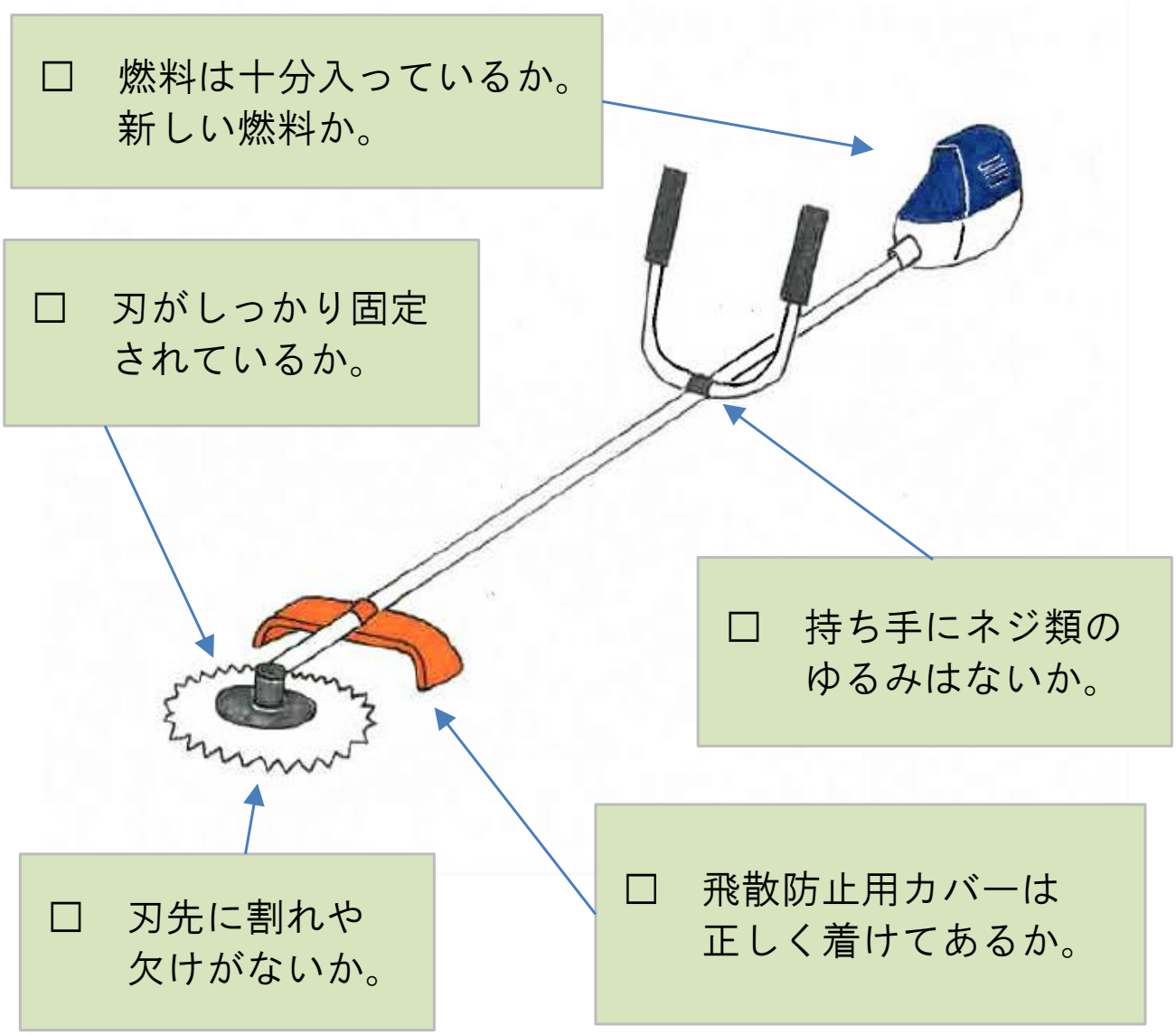
「短時間だから」「慣れた場所だから」「着込むと暑いから」等の理由で防護具を装着しないまま作業を行うと、思わぬ事故につながります。以下のイラストを参考に、必ず防護具を装着して作業を行いましょう。

軍手は刈刃に巻き込まれる危険があるので使わないようにしましょう。



草刈機　作業前の点検

　ネジのゆるみや装着の不備などがあると、思わぬ事故につながります。必ず作業前に草刈機の点検をしましょう。



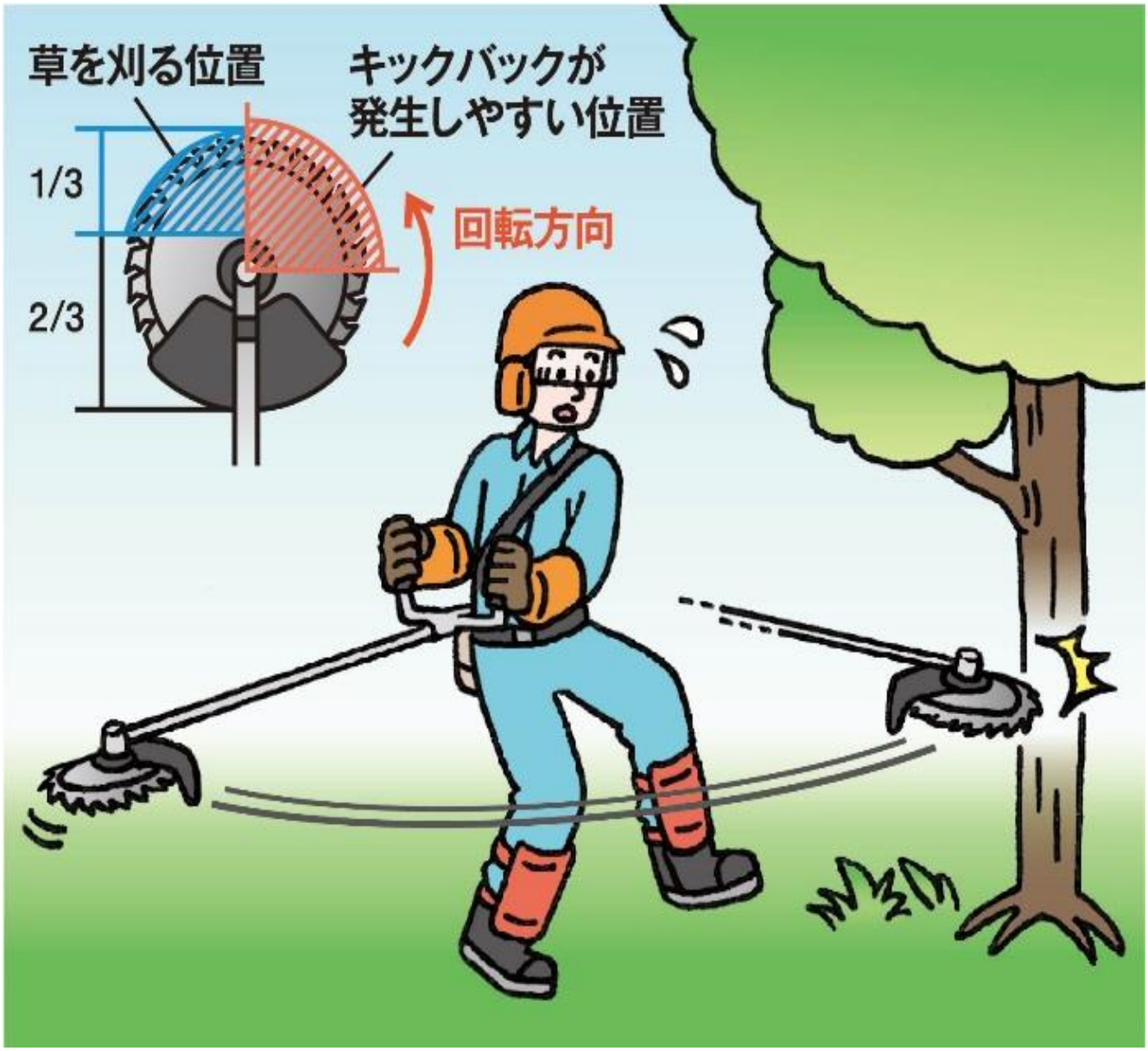
〇肩掛けバンドは適切な長さに！

　草刈機を自然に持った時、刈刃が地面から数センチの高さになるよう、バンドの長さとハンドルの位置を調節しましょう。正しく装着することで、転倒時に刈刃が体に触れにくくなります。

草刈機によるキックバック

回転中の刈刃が障害物や地面に当たると、回転方向と反対側（右側）に勢いよく刈刃が跳ねてしまうこと（キックバック）があります。草刈りをする時は、石や木などの障害物がないか確認し、キックバックが起こりにくい刈刃の左側の前1／3部分で刈りましょう。

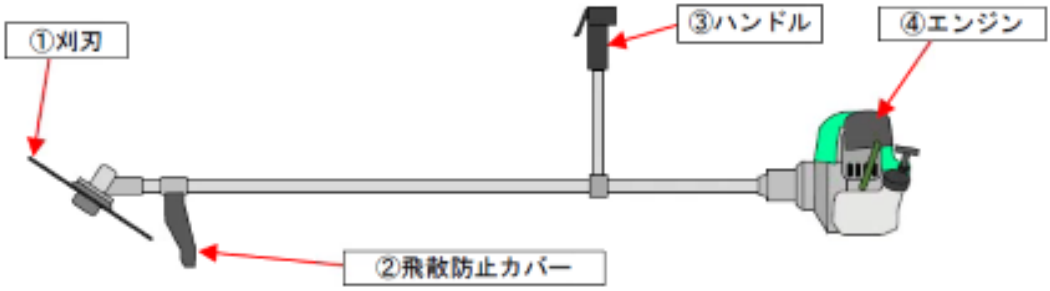
また、ブロック塀など障害物のあるところでは、草刈機を使わず、鎌などで手刈りすることも検討しましょう。



草刈機による石の飛散テスト

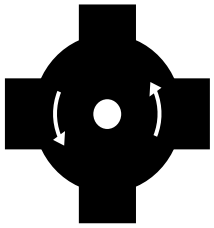
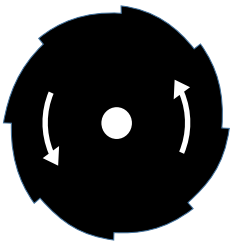
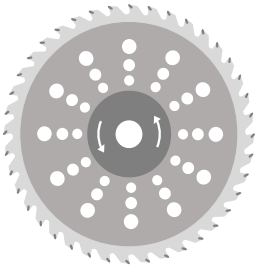
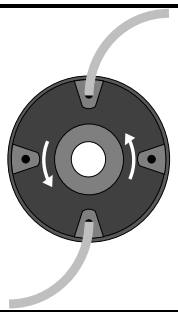
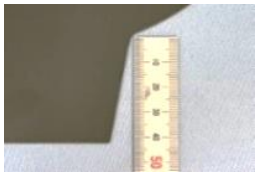
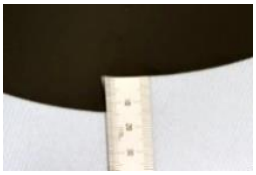
草刈機が石を跳ねた場合、どのくらいの速さで、どのくらい遠くまで飛ぶのかを調べたテストです。

１．テストに使用した草刈機の外観と各部の名称



①用途に合わせて刈刃を交換可能、今回は直径255㎜の刈刃を使用 ②飛散物から作業者を守るためのカバー ③U字ハンドル式でエンジンスイッチやスロットルレバーが装備されている ④排気量33.5mlのエンジン

２．テストに使用した草刈機用の刈刃の形状

名称	4枚刃	8枚刃	チップソー(40枚刃)	ナイロンコードカッター
刃の外形				
直径	255㎜	255㎜	255㎜	-
特徴	やわらかい雑草用で刃が4枚	一般雑草で刃が8枚	一般雑草用で刃の先端に超硬チップが埋め込まれている	やわらかい雑草用で障害物の多い場所で使用 刃はなくナイロンコードで草をたたいて切る
刃の材質	金属	金属	金属(超硬チップ)	ナイロン
刃の高さ	約43㎜ 	約14㎜ 	約10㎜	約100㎜

３．テスト結果

刃に接触した位置から飛散物（石）が確認された場所までの距離と、飛散するスピードは以下のとおりです。

刃の種類	4枚刃	8枚刃	チップソー	ナイロンコードカッター
飛散距離	67.8m	30.2m	今回の条件では飛散せず	16.9m
飛散速度	約130km/h	約76km/h	今回の条件では飛散せず	約48km/h

注１）飛散させた石の大きさは約20～30mm
注２）飛散速度は0.5m地点と1.0m地点の通過時間から計算
注３）今回、チップソーについては刃の間に小石が入りにくく、飛散しませんでしたが、刃の間に入るほどの小石を跳ねた場合は、飛散しますのでご注意ください。

草刈機の刃に接触した飛散物は、最大67.8mもの距離を飛び、その速さは時速約130kmを記録しました。飛散物が人や物に当たると、大きな事故につながりかねません。

飛散した石などによる事故を防ぐために・・・

〇小石や枝などは、作業前に取り除きましょう。
〇作業中の人には近づかないようにしましょう。

蜂やマダニに注意！

「おかやまアダプト」推進事業の活動中にも、蜂やマダニによる被害が複数件報告されています。蜂やマダニの生態を知り、正しい行動で身を守りましょう。

活動が活発な時期

蜂	スズメバチ　　7月～10月 アシナガバチ　7月～８月
マダニ	春～秋（冬に活動する種類もいます）

生息場所

蜂 （巣を作る場所）	家の軒下や屋根裏、木の枝、土の中など
マダニ	・シカやイノシシなどの野生動物の生息地 ・民家の裏山、裏庭、畑、あぜ道など

蜂に遭遇してしまったら・・・

身を低くしてゆっくり後ずさりし、その場を離れましょう。蜂は急激な動きや音に反応して攻撃してくるので、静かにゆっくり行動しましょう。

マダニに咬まれてしまったら・・・

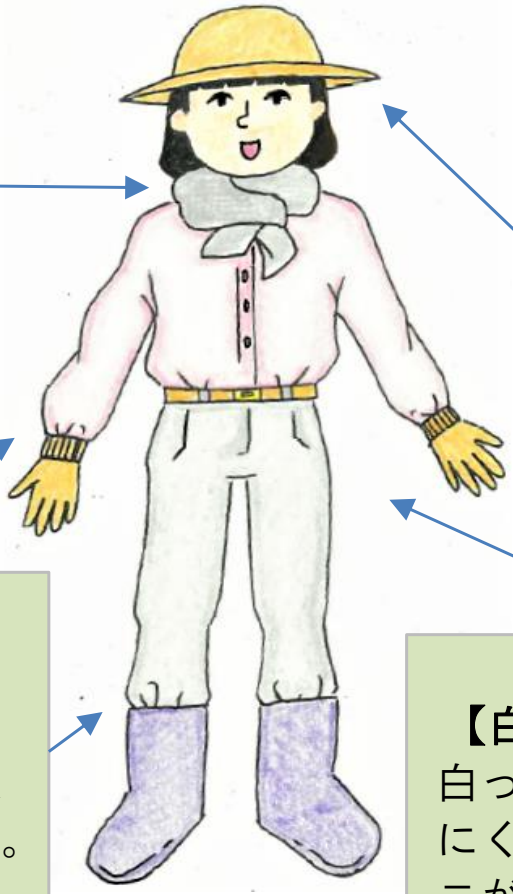
〇無理に引き抜こうとせず、医療機関で処置（マダニの除去、洗浄など）を受けましょう。
〇数週間程度は体調の変化に注意し、発熱等の症状が認められた場合は、医療機関で診察を受けてください。

【診察時に医師に伝えること】①野外活動の日付 ②場所 ③発症前の行動

★蜂やマダニから身を守るために★

服装のポイント

蜂やダニの被害に遭わないためには、適切な服装で作業することが大切です。次のポイントを参考に、蜂やダニに狙われにくい服装を心掛けましょう。



【タオル】
首に巻いて露出を少なく。

【帽子】
頭を保護。防虫ネットがあれば顔も守れてさらに安全。

【長袖・長ズボン】
厚手のものが望ましい。袖口や裾は手袋や長靴の中に入れる。

【白を基調とした服装】
白っぽい服は蜂に狙われにくく、服についたマダニが見えやすい。

その他の注意事項

服や体にダニがついているかも・・・！

- ☐ 上着や作業着は家の中に持ち込まない。
- ☐ シャワーや入浴でダニが付いてないか確認。
- ☐ 服にダニがついていたら、ガムテープなどで除去。

蜂は匂いにも敏感！

- ☐ 香水やヘアスプレーなど、匂いのあるものに注意。
- ☐ 体臭も蜂を刺激するため、汗をかきやすい時期はシャツなどをこまめに取り換えるとよい。

熱中症を防ぐには

熱中症とは

熱中症とは、高温多湿な環境に長くいることで、徐々に体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温調節機能がうまく働かなくなり、体内に熱がこもった状態です。

熱中症の症状

Ⅰ度	めまい、手足のしびれ、こむら返り、気分が悪い
Ⅱ度	頭痛、吐き気、嘔吐、倦怠感、いつもと様子が違う
Ⅲ度	返事がおかしい、意識消失、けいれん、体が熱い

熱中症を防ぐためのポイント

① 日陰の利用やこまめな休憩で暑さを避ける。

② 通気性がよく、吸湿性・速乾性のある衣服を着用。

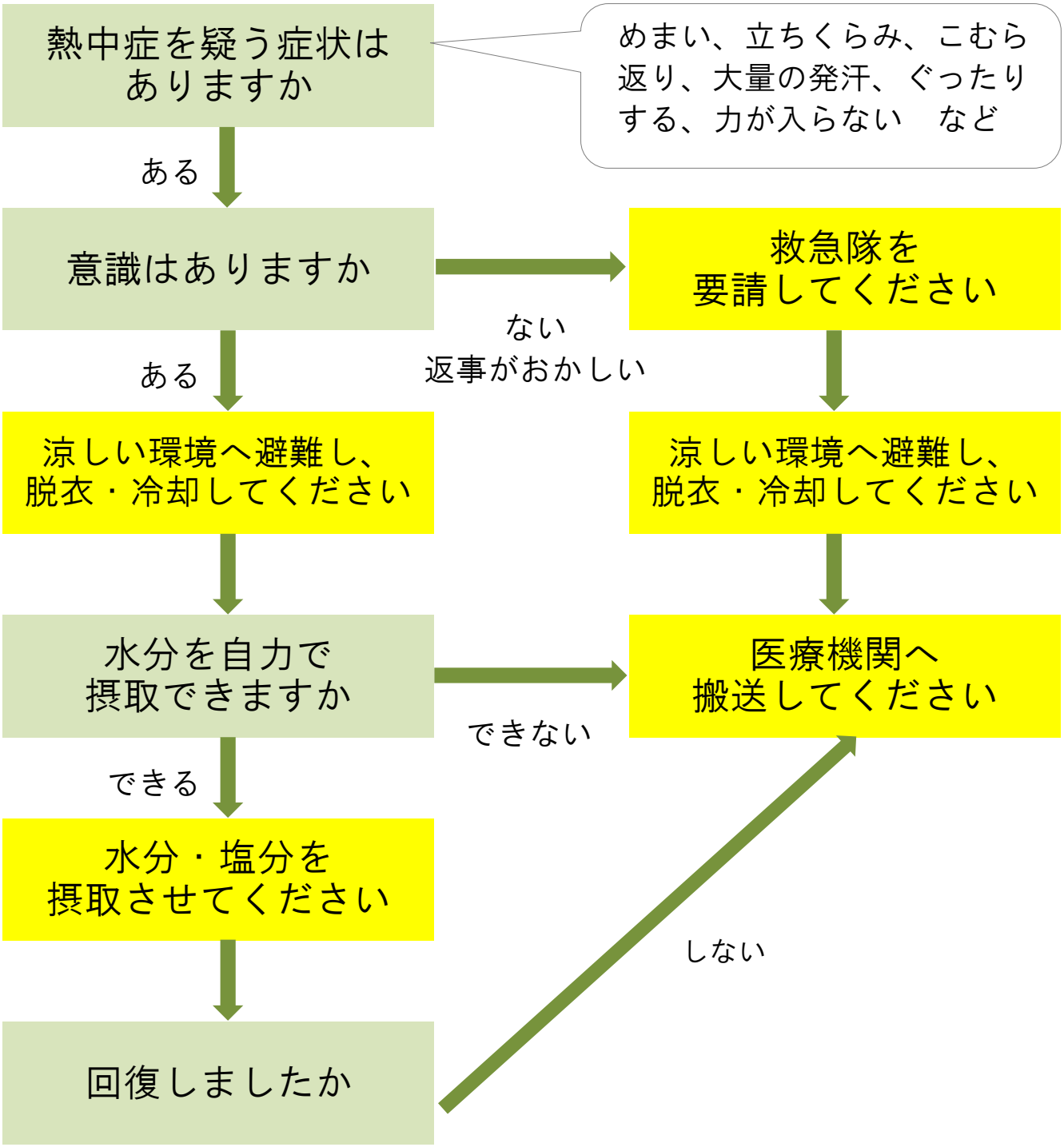
③ 保冷剤などで体を冷やし、蓄熱を避ける。

応急処置

・涼しいところで安静にする。
・水やスポーツドリンクなどをとる。
・体温が高いときは、裸体に近い状態にし、冷水をかけながら扇風機の風を当てる。
・氷でマッサージするなど、体温の低下をはかる。

自力で水が飲めない、意識がない場合は、
すぐに救急車を呼びましょう！

熱中症かな？と思ったら


熱中症を疑う症状は
ありますか
めまい、立ちくらみ、こむら返り、大量の発汗、ぐったりする、力が入らない　など
ある
意識はありますか
ない
返事がおかしい
救急隊を
要請してください
ある
涼しい環境へ避難し、
脱衣・冷却してください
涼しい環境へ避難し、
脱衣・冷却してください
水分を自力で
摂取できますか
できない
医療機関へ
搬送してください
できる
水分・塩分を
摂取させてください
回復しましたか
しない

～事故事例集～

次ページからは、「おかやまアダプト」推進事業での活動中に起きた事故事例を紹介します。安全に活動できるよう、過去の事例を今後の活動に生かしましょう。

【目次】

１．切り傷など

No.1 「草刈機の安全確認と正しい使用を。」 …… 15
No.2 「草刈機の操作は慎重に。」 …… 17
No.3 「飛散物に注意！」 …… 19

２．蜂ささされ

No.4 「蜂の巣が見当たらなくても注意！」 …… 21
No.5 「万全の備えで事故を防ごう！」 …… 23
No.6 「土の中にも蜂の巣が！」 …… 25

３．転倒・転落など

No.7 「危険な場所には立ち入らない！」 …… 27
No.8 「斜面での作業に注意！」 …… 29
No.9 「障害物に注意！」 …… 31
No.10 「足元には思わぬ危険が。」 …… 33
No.11 「体調不良が事故につながることも。」 …… 35
No.12 「安全第一で行動しよう！」 …… 37
No.13 「作業は無理のない場所で。」 …… 39
No.14 「草刈機に絡まった異物は安全に除去しよう。」「悪天候の中では作業しない。」「一人での作業は避ける。」 …… 41
No.15 「危険な場所には立ち入らない！」 …… 43
No.16 「滑りやすい地面に注意！」 …… 45

４．その他（竹の処分・マダニ被害）

No.17 「竹の処分はケガに注意！」 …… 47
No.18 「肌の露出はできるだけ少なく！」 …… 49

No.1　　切り傷など

何している時	草刈り	用具の使用 草刈機
どうなった	手の指を切った。	
なぜ	草刈機のベルトが外れたままだったため。	
症状	親指7針、中指2針縫うけが	全治　３か月

詳細	発 生 日　令和元年9月	天　候　晴れ
	性　別　男	年　齢　70代
	【詳しい状況】 草刈機のベルトが外れたが、作業範囲が残り僅かだったため、そのまま草刈機を手で持って作業を続けた。草刈機がバランスを崩し、刃の部分が顔に向かって跳ねたため、それを防ごうと手を出したところ、回転している刃に当たってしまった。	

当事者・関係者の声

ベルトを直し、安全を確認して作業すればよかった。
作業開始前に、草刈機の燃料確認だけでなく、ベルトや留め金具等の安全確認をしておけばよかった。

留意点：**草刈機の安全確認と正しい使用を。**

作業開始前には、草刈機のベルトや留め金具、刃の取付状況などを確認する。ベルトが外れた状態で作業をしない。

現場の様子	

★こんな事故も・・・
平成27年5月には、鎌で草刈り作業中の男性(30代)が誤って手を滑らせ、左手を４針縫うけがをした。草刈機と同様、鎌を使う場合も安全に気を付けて慎重に作業する必要がある。

No.2　　切り傷など

何している時	草刈り	用具の使用 草刈機
どうなった	脚を切った。	
なぜ	草刈機の刃が石に当たって飛散したため。	
症状	深い切り傷（左脚大腿部）	全治　5か月

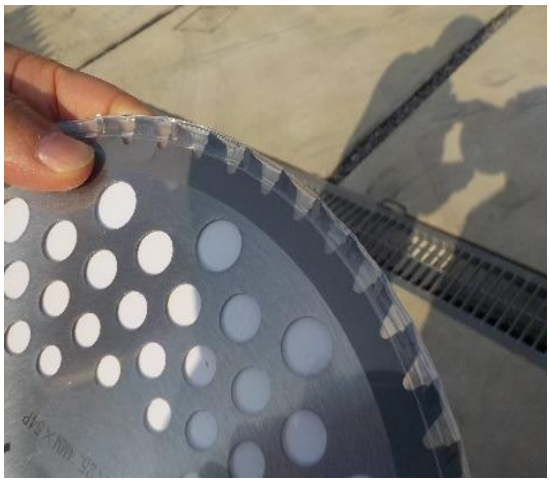
詳細	発 生 日　平成29年9月	天　候　晴れ
	性　別　男	年　齢　60代
	【詳しい状況】 作業場所には、やや大きめの石が転がっているが、背丈ほどの草が生い茂り、地面が見えにくかった。 勢いよく草を刈っていたところ、草刈機の刃が石に当たり、飛散したチップにより左脚大腿部に切り傷を負った。脚の内部に残ったチップを除去するため手術し、7針程度縫った。	

当事者・関係者の声

かなりの勢いで草を刈っていたため石に当たってしまった。
草刈機はゆっくり優しく動かし、最初から深く刈らないようにした方がよい。

留意点：**草刈機の操作は慎重に。**

地面が見えないところは、まず草の上部を刈って地面を確認する。草の根元近くを刈るときは特に、勢いをつけて草刈機を扱わない。根本ギリギリではなく少し上のところを刈る。

現場の様子	

No.3　　切り傷など

何している時	草刈り	用具の使用 草刈機
どうなった	切草が飛んできて目に刺さった。	
なぜ	ゴーグルを着用していなかったため。	
症状	出血（左目）	通院　1回

詳細	発 生 日　平成29年6月	天　候　晴れ
	性　別　男	年　齢　60代
	【詳しい状況】 サングラスを着用し、飛散防止用カバー付きの草刈機で作業中、自分が刈った草の茎がサングラスの隙間から飛び込んできて左目に刺さり、出血した。 眼科で茎を除去してもらい、目薬を1か月点眼した。	

当事者・関係者の声

当日は、少し風があったが気にしていなかった。
サングラスをしていたため、小石などは防げると思っていたが、隙間から草が飛んできたため「まさか」という思い。

留意点：**飛散物に注意！**

草刈機の使用中は、飛散した小石や切草から目を守るため、ゴーグルの着用が望ましい。草刈機には必ず飛散防止用カバーを付け、他の人との距離や風向き等に注意する。

現場の様子	

No.4　　蜂ささされ

何している時	草刈り	用具の使用 草刈機
どうなった	蜂に刺された。	
なぜ	耳が露出していたため。 蜂を刺激したため。	
症状	蜂ささされ（耳・頭・身体）	通院　1日

詳細	発 生 日　令和元年7月	天　候　曇り
	性　別　男	年　齢　60代
	【詳しい状況】 草刈機で作業中、蜂（小型・黒色）に耳を刺された。さらに、蜂を追い払おうと帽子で払った際、帽子の中に蜂が入り、そのまま着帽したため頭や身体を刺された。事故当日は、長袖・長ズボンの作業服に、帽子、長靴、前掛け、フェイスガード、ゴーグルを着用していた。	

当事者・関係者の声

蜂の巣は確認できなかった。
今回の服装は万全と思っていたが、耳をやられては防ぎようがない。

留意点：**蜂の巣が見当たらなくても注意！**

巣が見当たらない場所でも、蜂が現れることがある。蜂を見かけたら、刺激しないよう離れること。耳覆い（イヤーマフ）を着用すると耳を保護することができる。

現場の様子	

No.5　　蜂ささされ

何している時	草刈り	用具の使用 草刈機
どうなった	蜂（アシナガバチ）に刺された。	
なぜ	蜂の巣を草刈機で刈ってしまったため。	
症状	蜂ささされ（右手人差し指）	

詳細	発 生 日　平成29年7月	天　候　晴れ
	性　別　男	年　齢　50代
	【詳しい状況】 堤防斜面で草刈機を使用して草刈りをしていたところ、草に隠れていたアシナガバチの巣を刈ってしまい、右手人差し指を刺された。 事故当日は、長袖の服に長靴、帽子、メッシュのフェイスガード、軍手を着用していた。	

当事者・関係者の声

事前に下見をして蜂がいないか確認すべきだった。事故前に皮手袋が汚れたため軍手に替えたが、替えなければ事故が防げたかもしれない。また、透明プラスチックのフェイスガードをしていれば蜂をすぐに見つけて逃げることができたかもしれない。休日当番医を事前に把握しておけば事故のときに慌てなかった。

留意点：**万全の備えで事故を防ごう！**

服装などの備えにより、事故の可能性を下げることが大切。

現場の様子	

No.6　　蜂ささされ

何している時	草刈り	用具の使用 草刈機
どうなった	蜂に刺された。	
なぜ	蜂の巣を草刈機で刈ってしまったため。	
症状	蜂ささされ（上半身38か所）	通院　2日

詳細	発 生 日　平成27年7月	天　候　晴れ
	性　別　男	年　齢　70代
	【詳しい状況】 作業場所は草丈70～100㎝ほどの草が生い茂っており、地面が見える状態ではなかった。草刈機使用中に、土の中の蜂の巣を刈ってしまい、100匹近い蜂に追われ、38か所刺された。 長袖長ズボンに帽子を着用していたが、首筋や服の上から刺された。	

当事者・関係者の声

首筋や服の上から刺された。金網タイプのフェイスガードをつけており、巣の発見が遅れた。

留意点：**土の中にも蜂の巣が！**

土の中に巣を作る蜂もいるため、まず草の上部を刈り、蜂などがいないことを確認してから地面近くを刈る。厚めの作業服や肌の露出を控えた服装で身を守る。

現場の様子	

No.7　　転倒・転落など

何している時	草刈り	用具の使用 草刈機
どうなった	道路に転落した。	
なぜ	高所でバランスを崩したため。	
症状	脳挫傷	死亡

詳細	発 生 日　令和元年6月	天　候　晴れ
	性　別　男	年　齢　60代
	【詳しい状況】 高さ約3mのトンネル上で法面の草を刈っていたところ、何らかの要因でバランスを崩し、直下の生活道へ逆さまに転落した。	

当事者・関係者の声

一番若いメンバーなので、一番危険な場所での作業を自ら行っていた。

留意点：**危険な場所には立ち入らない！**

転落の危険がある場所、高い場所では作業をしない。
安全を第一に考え、無理はしないこと。

現場の様子	

No.8　　転倒・転落など

何している時	草刈り	用具の使用 草刈機
どうなった	転倒した。	
なぜ	足を滑らせたため。	
症状	打撲（膝）	

詳細	発 生 日　平成31年2月	天　候　くもり
	性　別　男	年　齢　80代
	【詳しい状況】 草刈り作業をしていたところ、傾斜のある土手で足を滑らせて転倒し、膝を強く打った。 現場は草で覆われていて、地面の凸凹や障害物の所在などがわかりにくい状態であり、傾斜は１割８分（約３０度）程度あった。	

当事者・関係者の声

高齢者には、少しの凸凹や傾斜でも転倒の可能性がある。
寒い時期でもあり、本人が思うように動けていなかったと思われる。

留意点：**斜面での作業に注意！**

斜面は滑りやすい。地面が濡れたり凍ったりしていなくても、足元には十分注意すること。作業時は滑りにくい靴を履き、急斜面には立ち入らないようにしよう。

現場の様子	

★こんな事故も・・・
平成29年11月には、男性(60代)が乾いた斜面で草刈り作業中に足を滑らせ、転倒する事故が発生。傾斜が急な場所では無理に作業しないようにしよう。滑りにくい靴を履き、足元には十分注意しよう。
N

No.9　　転倒・転落など

何している時	草刈り	用具の使用 自走式草刈機
どうなった	川に転落した。	
なぜ	草刈機のコードがガードパイプに絡まったため。	
症状	骨折（尾てい骨）	全治　3か月

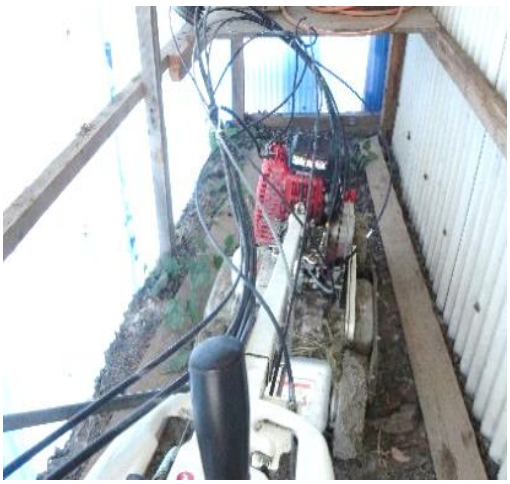
詳細	発 生 日　平成30年9月	天　候　曇り
	性　別　男	年　齢　60代
	【詳しい状況】 法面上部から自走式草刈機を操作していた際、操作コードがガードパイプに絡まった。草刈機の落下をくい止めようとした操作者は、法面上部から振り落とされて左肩を強打し、川に転落した。	

当事者・関係者の声

事故後、自走式草刈機の操作はより慎重に行っているが、手指の麻痺が残るため苦労している。

留意点：**障害物に注意！**

草刈機を使う際は、作業前にガードパイプやガードレール等の障害物の位置をよく確認し、近づきすぎないようにする。

現場の様子	

No.10　　転倒・転落など

何している時	草刈り	用具の使用 草刈機
どうなった	転倒した。	
なぜ	石につまずいたため。	
症状	骨折（尾てい骨）	全治　3か月

詳細	発 生 日　平成30年9月	天　候　晴れ
	性　別　男	年　齢　60代
	【詳しい状況】 草刈機使用中に、河川敷の石につまずいて転倒し、尻もちをついた。石は直径30㎝ほどで、一部が土の上に出ていた。現場にはいくらか石があるが、草により足元が見えにくい状態だった。	

当事者・関係者の声

草により足元の石が見えておらず、つまずき転倒してしまった。また、草刈機を持っていたため手をつくことができなかった。

留意点：**足元には思わぬ危険が。**

作業前に地面の状況を確認するなど、作業場所の安全確保が大切。草が茂っていると足元が見えにくいため、特に注意すること。

現場の様子	

★こんな事故も・・・

平成27年6月には、男性(60代)が側溝に足を取られ転倒する事故が発生。石や側溝は草に隠れて見えにくいこともあるため、足元の安全確認は慎重に。

No.11　　転倒・転落など

何している時	作業後	
どうなった	転落した。	
なぜ	めまいでバランスを崩したため。	
症状	打撲（腰）、脱臼、 擦過傷（手足）	入院　2週間

詳細	発 生 日　平成29年2月	天　候　曇り
	性　別　男	年　齢　80代
	【詳しい状況】 草刈り作業を終え、一息ついたところでめまいがし、土手の端から約4m下の河川敷に転落した。	

当事者・関係者の声

事故当日、体調がすぐれないまま参加した可能性がある。

留意点：**体調不良が事故につながることも。**

体調には十分注意し、無理はしないようにする。
また、転落の危険がある場所には不用意に立ち入らない。

現場の様子	

★こんな事故も・・・
平成28年6月には、男性(90代)が作業後に意識を失って転倒し、後頭部を強打する事故が発生。メンバー同士で体調に気を配り、異変があれば早めに休むことが大切。

No.12　　転倒・転落など

何している時	河川から道路へ上がるとき	
どうなった	転落した。	
なぜ	危険な場所を無理に上がろうとしたため。	
症状	粉砕骨折（手首）	手術・リハビリのため入院・通院

詳細	発 生 日　平成28年12月	天　候　曇り
	性　別　女	年　齢　60代
	【詳しい状況】 河川護岸に梯子をおろし、川の中で草を刈った。作業後、すでに梯子を片付けてしまっていたため、張ブロックにある排水口に足をかけ、軍手を着けたまま道路のガードレールに手をかけてよじ登っていたところ、手が滑って川に転落した。	

当事者・関係者の声

再び梯子を下ろす、軍手を外しておく、遠回りしてでも安全なところから道路に上がる、など、事故を避けるためにいろいろな選択肢があったと思う。この事故後は、みんなで安全第一と声をかけ合い、事故を未然に防いでいる。

留意点：**安全第一で行動しよう！**

作業後も気を抜かず、面倒なことでも省略しない。安全を第一に考えて活動を行うこと。

現場の様子	

No.13　　転倒・転落など

何している時	草刈り	用具の使用 草刈機
どうなった	転落した。	
なぜ	急斜面で小石に足を取られたため。	
症状	打撲（手）	

詳細	発 生 日　平成28年7月	天　候　晴れ
	性　別　男	年　齢　80代
	【詳しい状況】 堤防の平たんな場所から法面上部の草を刈っていた際、小石に足を取られ、草刈機とともに転倒した。斜面を転げ落ち、川に転落する手前で止まった。 現場は小石が多く、傾斜が急な斜面である。	

当事者・関係者の声

小石が多く、傾斜も急な場所だったのでこのような事故が起きた。

留意点：**作業は無理のない場所で。**

条件が悪い場所での作業は控える。危険だと感じたら無理をせず、その場所では作業をしないこと。

現場の様子	

No.14　　転倒・転落など

何している時	草刈り	用具の使用 草刈機
どうなった	転落した。	
なぜ	雨の中、草刈機を振り回したため。	
症状	骨折（腰椎・頸椎）	

詳細	発 生 日　平成27年8月	天　候　小雨
	性　別　男	年　齢　60代
	【詳しい状況】 草刈機で作業中、草刈機の刃に、落ちていた麻袋の一部が絡まった。それを振り払おうと、草刈り機の刃先を左右に振っていたところ、バランスを崩して約２メートル下の川に転落した。その際、岩の出っ張った部分に着地したため、体を支えることができず、しりもちをついた。 また、作業時は小雨が降っており、視界や足元の状態も悪かった。	

当事者・関係者の声

小雨が降っていたため視界も悪かった。一人で作業していたためそばに人がおらず、大変な思いで護岸に登った。

留意点①：**草刈機に絡まった異物は安全に除去しよう。**

草刈機に絡まった異物を取り除くときは、必ずエンジンを止め、安全な場所で行うこと。

留意点②：**悪天候の中では作業しない。**

雨が降ってきたら作業中止を検討しよう。足元の状態や視界が悪いと、思わぬ事故につながることも。

留意点③：**一人での作業は避ける。**

お互いに声を掛け合い、変わったことがないか気にかけながら作業をしよう。

現場の様子	

★こんな事故も・・・

平成30年8月には、女性(70代)が急斜面で草刈機に絡まった蔦を取り除いていたところ、バランスを崩して転倒する事故が発生。こうした作業は、斜面ではなく平たんな場所で行おう。

No.15　　転倒・転落など

何している時	草むしり
どうなった	転落した。
なぜ	狭く不安定な場所でバランスを崩したため。
症状	骨折（左手首）

詳細	発 生 日　平成27年5月	天　候　くもり
	性　別　男	年　齢　60代
	【詳しい状況】 河川の草刈作業をしていたところ、道路を挟んで並行する用水路の奥（山側）に生えている草が気になり、水門ゲートをつたって抜きに行った。 草をつかんで引っ張ったが、抜けた拍子に足元の石が動いたため、バランスを崩して約1.5m下の水路に落下した。落下したときに左手をついて体を支えたが、その際左手首を骨折した。	

当事者・関係者の声

水門ゲートを利用し、たまたま反対側へ渡ることができたため、普段人が立ち入らないところに入った。行かなければよかった。

留意点：**危険な場所には立ち入らない！**

高所や足元にスペースがない場所など、安全に作業できない場所には立ち入らない。

現場の様子	

No.16　　転倒・転落など

何している時	草刈り	用具の使用 草刈機
どうなった	足元が滑った。	
なぜ	コンクリートの法面に土が乗り、霜が降りていて滑りやすくなっていたため。	
症状	肉離れ（右ふくらはぎ）	通院　1か月

詳細	発 生 日　平成27年1月	天　候　晴れ
	性　別　男	年　齢　60代
	【詳しい状況】 コンクリートの法面を、草刈機を持って移動していたところ、滑って右ふくらはぎに肉離れが生じた。事故現場はコンクリートの上に土が乗っており、そこに前日から霜が降りて滑りやすい状態だった。	

当事者・関係者の声

滑る可能性があることは分かっていたが、「このくらいは大丈夫」と思い、滑ってしまった。今後は足元の安全確認を行い、慎重に行動する。

留意点：**滑りやすい地面に注意！**

氷が張ったり霜が降りたりしている地面は特に滑りやすいため、注意が必要。作業中止や延期も検討する。

現場の様子	

★こんな事故も・・・
令和元年6月には、男性(70代)が前日の雨で湿った草に足を取られ、斜面を転げ落ちる事故が発生。濡れた草は滑りやすいため、氷や霜と同様に注意が必要。

No.17　　その他

何している時	竹の処分	用具の使用 のこぎり・紐
どうなった	竹の切り口が指に刺さった。	
なぜ	保護手袋を着用していなかったため。	
症状	トゲ状の竹が深く刺さった（左手人差指）	

詳細	発 生 日　平成30年2月	天　候　晴れ
	性　別　男	年　齢　30代
	【詳しい状況】 伐採した竹等をひとまとめにする際、左手人差指に竹の切り口が刺さった。軍手を着用していたが、役に立たなかった。	

当事者・関係者の声

保護手袋（革の手袋等）の着用が望ましい。
竹や笹を鉈で斜め切りにする人がいるが、刺さったら大けがをするので、のこぎりなどで地面と水平に切るのがよい。

留意点：**竹の処分はケガに注意！**

竹や笹はのこぎりなどで地面と水平に切るようにする。
作業時は、軍手よりも保護手袋（革の手袋等）の着用が望ましい。

現場の様子	

No.18　　その他

何している時	除草	
どうなった	マダニに咬まれた。	
なぜ	素手で作業していたため。	
症状	倦怠感・発熱	入院　8日間

詳細		
	発 生 日　平成27年6月	天　候　晴れ
	性　別　男	年　齢　70代
	【詳しい状況】 素手で除草作業中に、左手甲をマダニに咬まれた。 その後、発熱と倦怠感で動けなくなり、入院して点滴等の処置を受けた。	

当事者・関係者の声

草は高いものでも腰までで、手に草が当たった感覚は無かった。手袋を着用するなど、肌を露出しない服装を心掛け、虫刺されであっても早めに病院へ行った方がよい

留意点：**肌の露出はできるだけ少なく！**

素手ではなく手袋を着用するなど、肌の露出が少ない服装を心掛ける。虫刺されであっても、少しでも不安を感じたら病院へ。

現場の様子	

参考文献

1)「刈払機(草刈機)の使用中の事故にご注意ください！」（消費者庁・独立行政法人国民生活センター)
2)「刈払機（草刈機）による飛散物についてのテスト結果」（独立行政法人国民生活センター)
3)「刈払機の正しい使い方」（一般社団法人日本農業機械工業会)
4)「蜂に注意/蜂の種類とその対策」（林業・木材製造業労働災害防止協会)
5)「熱中症予防のために」（厚生労働省)
6)「熱中症を防ごう」（厚生労働省労働基準局・都道府県労働局・労働基準監督署)
7)「「ダニ」にご注意ください」（厚生労働省)
8)「マダニ対策、今できること」（厚生労働省・国立感染症研究所)

編集・発行

岡山県
土木部　道路整備課・河川課・防災砂防課・港湾課
都市局　都市計画課

〒700-8570 岡山市北区内山下2-4-6　TEL 086-226-7472　FAX 086-225-3684
URL http://www.pref.okayama.jp/page/335144.html